

## マレーシア・マラ公団職員原子力研修 実施報告 [速報版]

東京都市大学・原子力研究所では、公益財団法人オイスカと契約を行い、2013年12月の1か月間、マレーシア・マラ公団の4名の職員の方に対する原子力・放射線分野の研修を実施しました。今回の研修の主な目的は、近い将来マレーシア・マラ公団において原子力・放射線分野の人材育成を進めるにあたり、その教育を中心となって担っていく職員に原子力の基本や放射線管理等の基礎的な技術を習得していただくことにありました。当研究所では、これまでに培ってきた技術と設備を活用して、実践的な実習を行うプログラムを作成しました。具体的には、原子力・放射線の基礎や、日本における原子力規制体系に関する講義、基礎的な放射線測定実験、放射線管理業務に関する実践的な実習、原子炉シミュレータ実習などを実施しました。実習期間中には、横須賀の立教大学・原子力研究所の施設見学や、本学世田谷キャンパスを訪問して原子力安全工学科の学生や、マレーシア出身の学生との交流会を実施しました。また、茶の湯体験などを通して、日本文化について紹介する機会も設けました。最終日には、研修生による成果報告会を実施し、実習により得られたことを発表していただきました。研修生からは来年以降もマラ公団と本学との間で引き続き人材育成という点で関係を継続したいとの発言があり、当研究所としてはニーズがあれば応えたいと回答しました。また、本学としてもグローバル化を推進する上で、海外の組織と連携することは望ましいことであると考えられ、当研究所としては今回の知見を学内において共有していきたいと思っております。

全て英語による講義、実験実習という初めての経験でしたが、実習生から有意義な内容であったとの感想を伺うことができ、本研修に携わった当研究所所員一同安堵しています。今後は、本研修プログラムにより得られた経験を生かして、教育・研究活動をより一層活発化していきたいと考えています。

最後になりましたが、本研修の実施にあたり、様々な面でバックアップしていただきました公益財団法人オイスカの関係者の皆様に感謝申し上げます。

2014年1月10日  
東京都市大学 原子力研究所



写真1 ウェルカム・セレモニー  
(2013.12.2)



写真2 講義の様子  
(2013.12.9)



写真3 実験の様子  
(2013.12.10)



写真4 立教大学・原子力研究所見学  
(2013.12.11)



写真5 放射線管理技術の実習  
(2013.12.13)



写真6 茶の湯体験  
(2013.12.18)





写真7 原子力安全工学科の学生との交流  
(2013.12.18)



写真8 マレーシア出身の学生との交流  
(2013.12.18)



写真9 原子炉シミュレータ実習  
(2013.12.20)



写真10 成果報告会  
(2013.12.25)



写真11 集合写真 (2013.12.25)